

地籍調査支援システム

基準点・筆界点への杭材一括更新



株式会社 上智

① 一括処理の手順※

一括処理は、CSV ファイルを利用して行います。

詳細な操作については、操作説明書【第2章 V-6 属性 CSV データ取り込み】を、参照してください。本説明書では、CSV ファイルの準備を含めた、大まかな流れについて説明します。

② 杭材の区分

本地籍測量支援システムにおいて、杭材（基準点では埋標と表記）は、以下のコード体系になっています。一括処理（csv からの取り込み）の際には、このコード体系に合わせる必要があります。

基準点と筆界点のどちらを更新するかで、コードの割り振りが異なりますので注意して下さい。

基準点埋標区分

0:指定なし
1:木杭
2:石
3:コンクリート
4:プラスチック大(規格)
5:プラスチック小(規格外)
6:金属標(規格)
7:鋳
8:プレート
9:プラスチック小(規格品)

筆界点杭材区分

0:指定無し
1:木杭
2:石
3:コンクリート
4:プラスチック大
5:プラスチック小
6:金属標
7:鋳
8:プレート
9:真鍮
10:刻印
11:マンホール利用
12:ペン
19:その他
99:不明

※ 既に情報を登録済みの点に対し、杭材の情報をつけ加える機能であり、新たに点を発生させる機能ではありません。

③ 更新するデータの準備（Ⅰ）

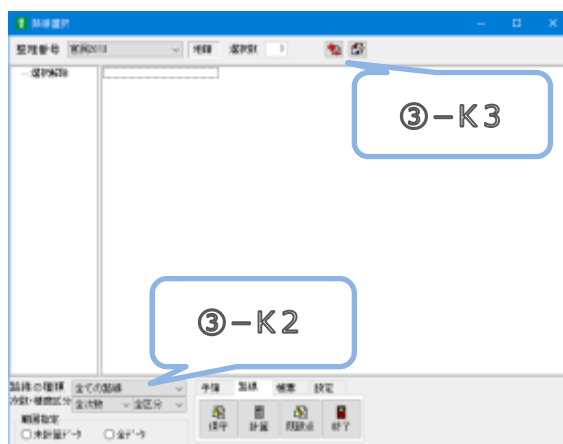
CSV ファイルは、Microsoft Excel 等の表計算ソフト等で作成することができますが、全て手入力するには、非常に手間暇がかかります。

測量支援システムから、属性データを出力することで、作成の手間を省力化します。

※ 基準点属性の CSV 出力

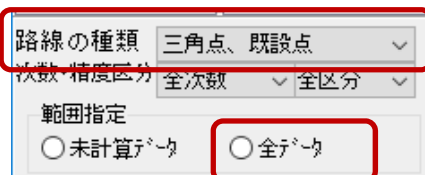
③-K1) メニュー【基準点】－【簡易網】－【旧方式（平成26年度以前）】を選択

図. が表示されます



③-K2) 画面下部の「路線の種類」を「三角点、既設点」に変更します。

図. 表示変更



続けて、全データにチェックを入れて下さい。

③-K3) 続けて、画面上部の矢印のあるボタンをクリックします。

図. 書き出し用ボタン

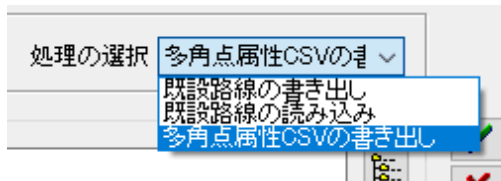


③-K4) 基準点 既設路線の書き出し 画面が表示されます。

図. 書き出し画面



処理の選択を「多角点属性 CSV の書き出し」に変更します。



③-K5) 基準点路線テキストファイル枠内のボタンをクリックし、保存先を指定します。

図. 保存ボタン



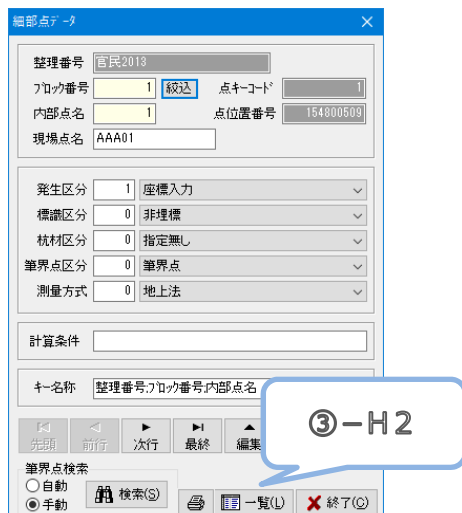
③-K6) 「実行」 ボタンをクリックして、出力処理を行います。

埋標区分コード、埋標区分名が、材質のコード値と名称文字になります。

※ 筆界点属性の CSV 出力

③-H1) メニュー【保守】 - 【マスターデータ保守】 - 【細部点属性データ保守】を選択

図. 「細部点データ」画面



③-H2) [一覧] ボタンをクリックして、一覧表を表示します。

図. 一覧表示ボタン



③-H3) [CSV 保存] ボタンをクリックして、CSV ファイルとして保存します。

図. 一覧表表示

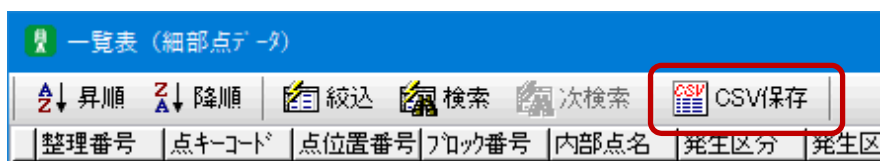
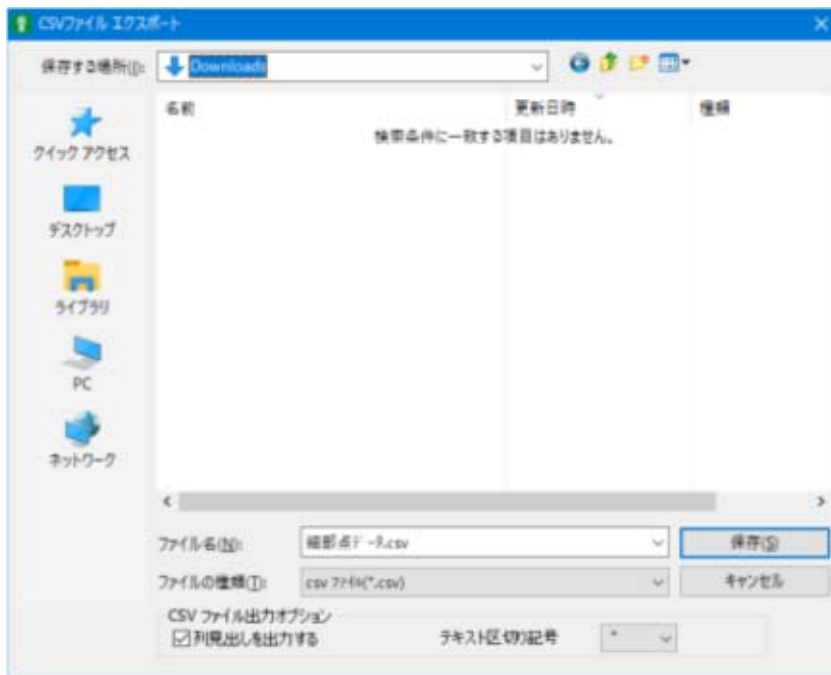


図. 保存ダイアログ



2つの杭材区分が、材質のコード値と名称文字になります。

④ 更新するデータの準備（Ⅱ）

出力した CSV ファイルを編集して、点名に対応する杭材を反映します。

このとき、コード値と名称を、両方編集する必要はありません。

コード値ならコード値のみ、名称なら名称のみを更新したい値に変更します。

また、コード値・名称のどちらでもいいのですが、入力する値は、任意で指定可能です。

例えば、以下のようにアルファベットを利用して CSV ファイルを作成しても問題ありません。CSV の取り込み時に、対応表を入力することで対応できます。

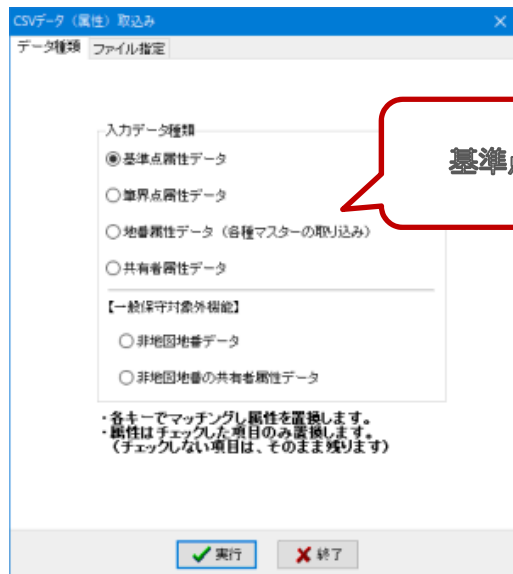
入力例	地籍システム対応値
X:指定無し	0:指定なし
B:鉄	1:木杭
C:コンクリート	2:石
K:木杭	3:コンクリート
M:金属標(規格)	4:プラスチック大(規格)
P:プラスチック大(規格)	5:プラスチック小(規格外)
S:石	6:金属標(規格)
	7:鉄
	8:プレート
	9:プラスチック小(規格品)

⑤ CSV ファイルの取り込み（一括処理）

上部メニューから【保守】－【属性 CSV データ取り込み】を選択します。

詳細な操作については、操作説明書【第2章 V-6 属性 CSV データ取り込み】を、参照してください。

図. CSV データ（属性）取り込み画面



CSVデータ（属性）取り込み

データ種類 ファイル指定

入力データ種類

- ☒ 基準点属性データ
- ☐ 筆界点属性データ
- ☐ 地番属性データ（各種マスターの取り込み）
- ☐ 共有者属性データ

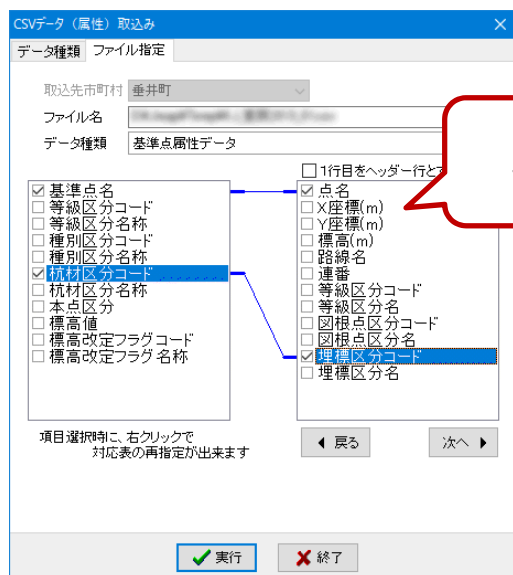
【一般保守対象外機能】

- ☐ 非地図地番データ
- ☐ 非地図地番の共有者属性データ

・各キーでマッチングし属性を置換します。
・属性はチェックした項目のみ置換します。
（チェックしない項目は、そのまま残ります）

実行 終了

図. 取り込み対象の設定※



CSVデータ（属性）取り込み

データ種類 ファイル指定

取込先市町村 垂井町

ファイル名

データ種類 基準点属性データ

☒ 基準点名

☐ 等級区分コード

☐ 等級区分名称

☐ 種別区分コード

☐ 種別区分名称

☒ 杭材区分コード

☐ 杭材区分名称

☐ 本点区分

☐ 標高値

☐ 標高改定フラグコード

☐ 標高改定フラグ名称

☐ 1行目をヘッダー行と

☒ 点名

☐ X座標(m)

☐ Y座標(m)

☐ 標高(m)

☐ 路線名

☐ 連番

☐ 等級区分コード

☐ 等級区分名

☐ 図根点区分コード

☐ 図根点区分名

☒ 埋蔵区分コード

☐ 埋蔵区分名

項目選択時に、右クリックで対応表の再指定が出来ます

戻る 次へ

実行 終了

※ 点名をキーにして更新するため、基準名・筆界点名は、設定が必須になります。

図. 入力例

【④ 更新するデータの準備（Ⅱ）】における入力例の通り編集した場合

コード指定画面

区分コード 既定値

当システム値	入力文字列
1木杭	K
2石	S
3コンクリート	C
4プラスチック大(規格)	P
5プラスチック小(規格外)	
6金属棒(規格)	M
7鉄	B
8プレート	
9プラスチック小(規格品)	

✓ 決定 ✗ 中断

〔入力文字列〕が、CSV で入力した文字です

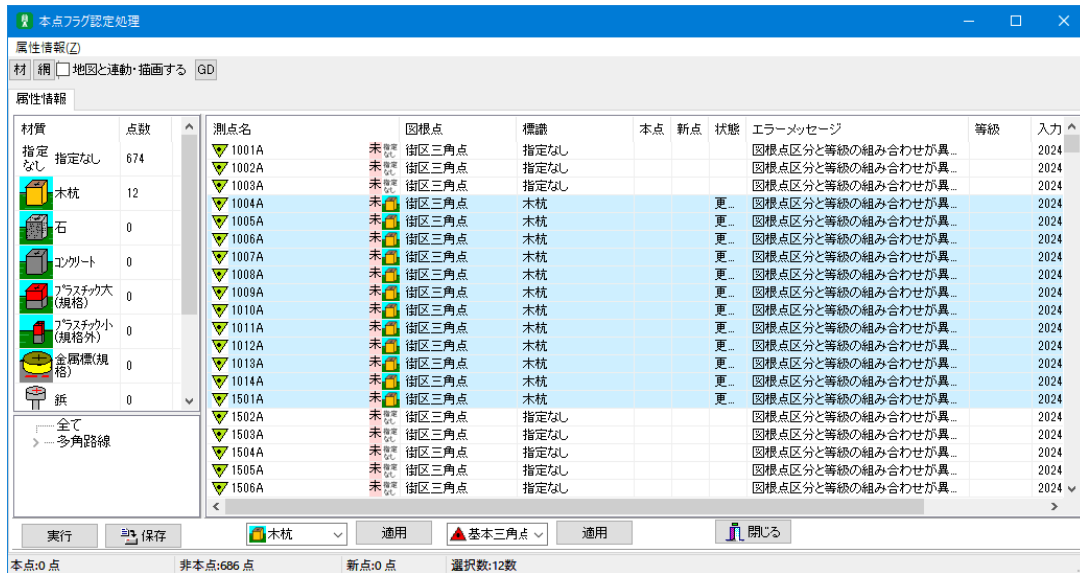
実行ボタンをクリックして、取り込み作業を行って下さい。

✓ 実行 ✗ 終了

⑥ CSV を使用せずに一括処理（基準点）

⑥－１）上部メニューから【基準点】－【本点フラグ認定処理】を選択します。

図．本点フラグ認定処理画面



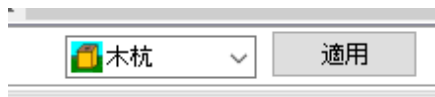
⑥－２）更新したいデータを選択

[Shift]キー押しながら、表をクリックして、範囲選択

[CTRL]キー押しながら、表をクリックして、複数選択 が可能です

⑥－３）更新したいデータを選択

更新後の杭材を指定し、【適用】ボタンクリック



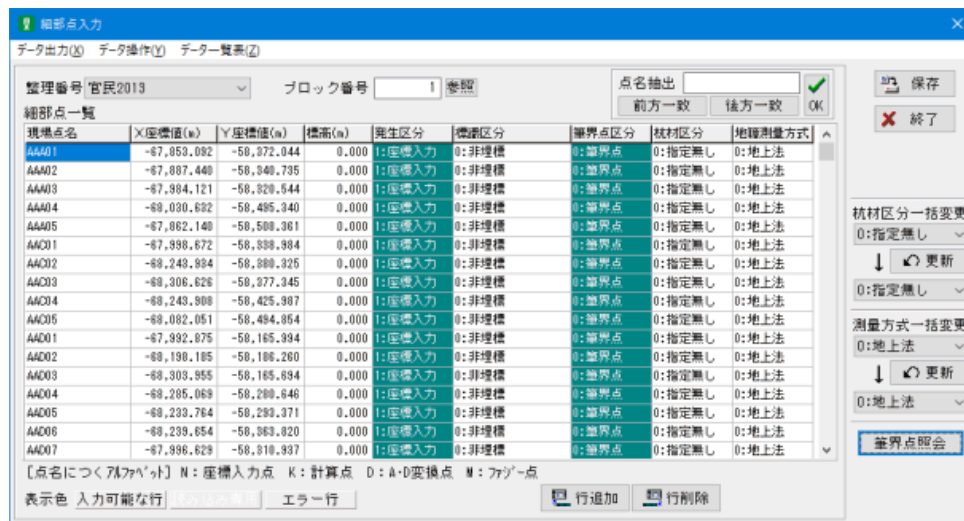
⑥－４）保存

【保存】ボタンをクリックすることで、属性データに反映されます。

⑦ CSV を使用せずに一括処理（筆界点）

⑦- 1) 上部メニューから【細部点】 - 【細部点入力】を選択します。

図. 細部点入力



細部点入力

データ出力(D) データ操作(V) データ一覧(L)

整理番号: 官民2013 ブロック番号: 1 参照

点名抽出: [] OK

前方一致 後方一致

現場点名	X座標値(m)	Y座標値(m)	標高(m)	発生区分	標準区分	筆界点区分	杭材区分	地籍測量方式
AAA01	-67,850.092	-58,372.044	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAA02	-67,887.440	-58,340.735	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAA03	-67,984.121	-58,820.544	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAA04	-68,030.692	-58,485.340	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAA05	-67,862.140	-58,508.361	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC01	-67,998.672	-58,888.984	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC02	-68,248.994	-58,880.925	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC03	-68,306.626	-58,377.345	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC04	-68,249.908	-58,425.987	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC05	-68,082.051	-58,484.854	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC01	-67,992.875	-58,165.994	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC02	-68,198.185	-58,186.260	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC03	-68,303.955	-58,165.694	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC04	-68,235.069	-58,280.646	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC05	-68,239.764	-58,293.371	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC06	-68,239.654	-58,363.820	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法
AAC07	-67,996.629	-58,810.937	0.000	1:座標入力	0:非埋標	0:筆界点	0:指定無し	0:地上法

[点名につくアルファベット] N: 座標入力点 K: 計算点 D: A・D変換点 M: フェジ-点

表示色 入力可能な行 [] エラー行 []

行追加 行削除

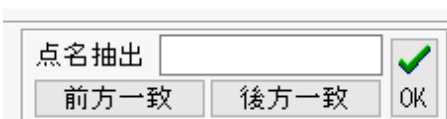
杭材区分一括変更: 0:指定無し [更新]

測量方式一括変更: 0:地上法 [更新]

筆界点照会

⑦- 2) 必要であれば点名で絞り込み

図. 点名での絞り込み条件入力



点名抽出 []

前方一致 後方一致 OK

⑦- 3) 変更前後の杭材種類を指定して更新

図. 杭材変更指定



杭材区分一括変更

0:指定無し [v]

↓ [更新]

2:石 [v]

基準点の【本点フラグ認定処理】とは異なり、選んだ部分のみを対象とするものではありません（表形式であり、複数行選択できません）。表示しているデータ全てに対し、杭材の変更前と変更後を指定するため、点名で絞り込みできるのであれば絞り込みして実行してください。



GEOIST 地籍システム サポート窓口

■受付時間

平日 午前 9 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0
午後 1 3 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0

(土曜・日曜・祝日及び年末年始等、弊社の休日日は除く)

■お問い合わせ窓口

TEL : (0763) 32-2135

FAX : (0763) 33-2558

URL : <https://www.johchi.co.jp/geoist/>